

福祉のかけ橋

平成23年10月号

第55号

敬老の集い

南砺市南山見地区

祝長寿おめでとう

演題

法話
無量壽のお話
講師 谷 淳彦

南山見地区社会福祉協議会



長寿の里、南山見

南山見公民館長 高瀬 顕正

昭和二十五年、日本全国で百歳以上のお年よりは、わずか九十七人。八十五万人に一人だった。今、日本で百歳以上の人は四万人を超え、三千人に一人の割合となった。平均寿命も、女は八十六歳、男は七十九歳。世界一の長寿国になった。

南砺市はどうか。百歳以上のお年寄りの数は五十人。千百人に一人の割合。当南山見地区においては、百歳以上の人が三名。何と！四百人に一人の割合だ。まさに長寿の里、南山見である。

この六月に中国の奥地チベットへ行ってきた。チベットの人たちの平均寿命は五十七歳。標高は富士山より高く、厳しい自然条件と不十分な食糧のため長く生きられないのだ。

それに比べて長寿の里南山見は、きれいな空気、おいしい水、豊かな米と野菜、美しい自然に恵まれ、しかも地区の人たちの温かい人情に包まれている。

人は皆、老いていく。老いていく者にとっては、周りの支えが欠かせない。当地区の人たちの温かい人情は、ケアネット活動をはじめとして、しっかりとお年寄りを守っている。お年寄りにやさしい地域こそ、みんなが安心して住める場所なのだ。長寿の里南山見に住んでよかったとつくづく思う。

第20回

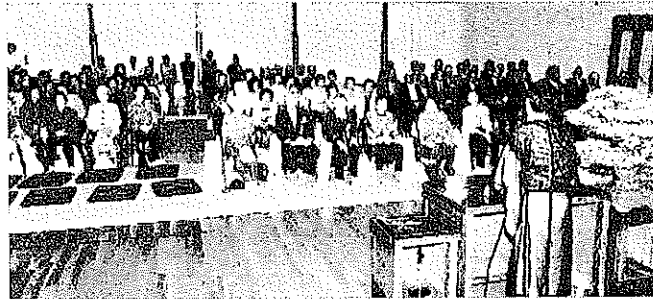
敬老の集い



ようやく暑さも過ぎた、9月25日(日)午後2時から地区社協主催で、公民館・町内会・婦人会及びボランティアグループ等大勢の方の協力をいただき、75歳以上の方々(対象者209名)をお招きし、「南山見地区敬老の集い」を開催しました。

式典では、米寿を迎えられた10名(出席6名)の方に南砺市長か

- 米寿を迎えられた表彰者
- 前川よ志子様
 - 太刀はな子様
 - 高戸ミサオ様
 - 松倉年夫様
 - 池田好作様
 - 小橋花子様
 - 山田たか子様
 - 山田信子様
 - 朝倉花子様
 - 小橋松子様



からお祝い状及び記念品が贈呈されました。そして、来賓の皆さん(南砺市長、才川市議会副議長)から祝辞をいただきました。引き続き、谷浄教寺住職、高瀬顕正師の法話を拝聴し、アトラクションは、南山見保育園年長組の遊戯、おらつちや劇団の演劇を鑑賞しました。参加者には、楽しい和やかなひとときを過ごしていただきました。

この集いにご協力をいただいた各位には、心より感謝申しあげます。(事務局)



ボランティアも一人運動

参加しましたが、狭い所に貼る作業なので最初は大変でしたが、だんだん要領もわかりあつという間に時間が過ぎていきました。園生の方とも話しもでき、有意義な時間を過ごさせていただき有難うございました。

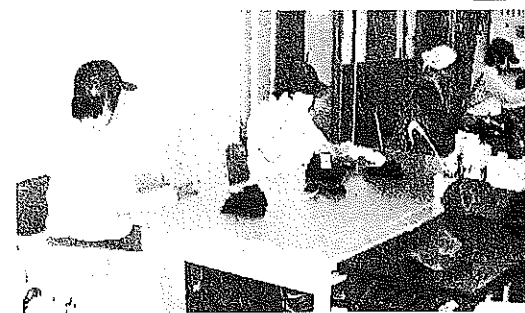
この「ボランティアも一人運動」は地域の方が、ボランティアへの一歩を踏み出せるよい機会でもあり、これからも大いに参加への呼びかけとこの事業を続けていく事によりボランティアの輪がだんだん大きく広がっていくのではないかと思います。

また施設としても地域に密着した、開かれた施設となるのではないでしようか。(篠原)

社協の地域総合推進事業として計画されています「ボランティアも一人運動」が十月五日マージン園で行われました。

社協の人、ボランティア会員、一般の方の参加のもと、マージン園の方の説明の後、手袋作業・シート交換、窓拭き等三班に分かれ作業を行いました。

私は手袋にシールを貼る作業に



八乙女福祉カレッジ

於 南山見公民館

六月十五日の高齢者学級と社協の合同学習会に参加した。

講師は、地域包括支援センターの武種美樹氏の講演「介護者の心のケアについて」、普段何気なしに聞いて、他人ごと、まだまだ先のことと思っていたが、年齢を重ねて初めて自分の問題だと気づく。

最初は日本の介護状況から始まり、十年前より男性介護者が三倍の増加、高齢者だけの世帯や、両親と同居する未婚男性の増加が背景にあると解説された。

そこで自分も身近で起きた立山町の介護疲れから、自宅を放火して全焼させた悲惨なケースを思い起す。これが介護疲れから来る高齢者虐待や介護放棄につながった例でもあるのである。

また、介護疲れになりやすい人はこんな人が危ないらしい。
①「身内の介護をしよう」と言うやさしい人

②親子の愛情が強い人(特に男性に多い)
③家族がいても一人で介護をしている人。

④責任感の強い人
⑤経済的に困難な人
等があるようである。

社協と高齢者学級合同学習会

いずれにしても介護する人とされる人の心がお互い理解できれば問題はないのだが、される側の想いを例を挙げ解説された。

《ある手紙から》

年老いた私がある日、今までの私と違っていたとしても、どうかそのままの私のことを理解してほしい。

私が服の上に食べ物をこぼしても靴の紐を結び忘れたとしてもあなたにいろんなことを教えたように見守ってほしい。あなたと話するとき同じ話を何度も何度も繰り返してもその結末をどうかさえぎらずにうなずいて欲しい。

この手記を読んでも現実はやはり介護はきびしいものです。

そこで最後に介護の秘訣について①欲張りすぎない介護(一人で介護を背負わない)

②積極的にサービスを利用する(ヘルパーや介護のプロに一部を任せらる)

③出来るだけ楽な介護のやり方を考える。
この三点が基本。

いろいろ資料で解説され自分にもかなり得るものが出来て大変良い学習会だったと思う。(小橋)

交通安全

ルールまもりん米汁



九月二十六日十時より、となみ野農協井波機械センター前にて、警察署指導のもと、地区交通安全協会・地区社協・各ボランティアアグリプでマスコットと、南山見のおいしいお米「守らん米」が配布されました。

「交通安全ルール守ってね」みんなが一針一針心をこめて、かわいいお花のマスコットが出来ました。
もらった人は「かわいいね、うれしいありがとう」といってほほえんでおられました。
私達も、交通安全を願いながら、車を送っていました。(徳成)



平成23年度 南砺市社会福祉大会

十月八日(土)「ふれあい支えあい安心して暮らせるまちづくりのために」をスローガンに井波総合文化センターで開催された。式典の後、記念講演「つながりのふしぎ沖縄のゆいまるるから考える」をテーマに西尾敦史氏(富山県出身)の講演もあった。
そこで地区関係で表彰を受けられた方々を紹介します。

南砺市社会福祉協議会会長表彰

- ・民生児童委員の部(九年以上)
- 須川 義孝 様
- 松井 泰範 様

・ボランティア活動者表彰

前川 達子 様

第60回

富山県社会福祉大会

十月十四日(金)県民会館に於いて、県民総参加により「ともに生きともに支え合う住民参加型社会の実現」に向けて努力することを宣言して開催される。

式典、議事後、大橋謙策氏の記念講演「住民と行政の協働による新しい福祉——社協60周年の意味を問う」もあった。
表彰を受けられた方々は次の通りです。

・ボランティア活動団体の部

双葉グループ



若葉グループ

表彰状 若葉グループ 殿

貴グループは多年にわたりボランティア活動を続けられ地域福祉の増進に寄与されました。
その功績をたたえ、表彰します。
平成二十三年十月十四日
富山県社会福祉協議会
会長 福田 政

今後の行事案内

- 11月13日 文化祭(公民館)
- ・地区社協活動パネル展示
- 11月18日(金)
- 第二回合同学習会
- ・交通安全教室 (南砺警察署)

12月中旬 歳末施設見舞い
歳末見舞い
(80才以上の高齢者・75歳以上の一人暮らしの方)

編集後記

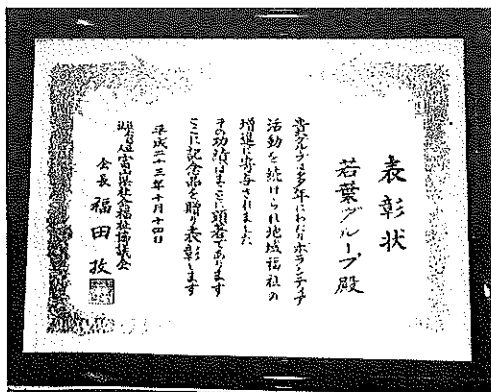
東日本大震災で爆発を起こした福島原発により、電力会社が電力の「計画停電」への協力を国民に要請されました。

全国の各電力会社も「計画停電」へと拡大しました。今年の夏場は、産業界、一般家庭、官庁等に徹底した節電が求められ、協力をしてきました。
今から迎える冬季に、認識を新たにしていきたいものです。(赤トンボ)

平成23年度 南山見地区社協事業経過

(平成23年4月~10月)

年月日	実施事業	場所
H23.4.17	組織役員会	南山見公民館
4.24	平成23年度定期総会	"
6.15	第一回合同学習会	"
8.2	講師 南砺市地域包括支援センター 社会福祉士 武種美樹氏	井波社協センター
8.11	地域支え合い活動事業説明会	井口社協センター
9.25	平成23年度地区社協研修会	南山見公民館
9.26	平成23年度敬老の集い	南山見機械センター前
10.5	交通安全街頭キャンペーン	マールシ園
10.25	ボランティアもう一人運動 役員研修会	中太閤山社協他



号数	第五五号
発行	平成二十三年十月
所在	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社会福祉協議会

◎ 読んだら綴りましょう

